

環境に係る情報協議会

国営農地再編整備事業 津別地区

1. 事業の概要

◆事業の目的

本事業は、既耕地を再編整備する区画整理と開畑による農地造成を一体的に施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農業の振興を基幹とした本地域の活性化に資することを目的としている。

◆受益面積 2,440ha

◆主要工事計画（案）

区画整理	2,400ha
農地造成	40ha

2. 津別町の環境に対する考え方

◆農村環境の現状と課題

《現 状》

○本町（津別町）の87%を山林が占め、国土の保全、水資源のかん養及び快適な生活環境の保全等の公益に資する機能を有しており、地域住民の生活環境に深く結びついている。豊かな森林資源に加えて、津別峠の「雄大な自然」や自然生態系に恵まれた「チミケップ湖と周辺一帯の森」等の景観資源も豊富にある。

（津別町田園環境整備マスタープランより引用）

《課 題》

○本町の農産物は豊かな自然環境（水、空気、土）の中で育ち、津別ブランドを形成しつつあり、安全・安心な「食」の供給基地として、良質な農産物を適切価格で安定的に提供できるよう、効率的な生産体制の構築が課題となっている。

（津別町田園環境整備マスタープランより引用）

3. 環境配慮のための環境調査

◆基本方針

本地区は周囲を国有林・道有林に囲まれた、自然豊かな網走川上流に位置し、既存の調査結果から網走川本川を中心に多様な動植物の生息が確認されている。

そのため、本地区の環境配慮計画策定にあたっては、既往の調査結果を活用するとともに、農地周辺における動植物相を把握する上で必要な現地調査を行う。

◆環境調査内容

- ・調査対象 哺乳類、鳥類、両生・は虫類、昆虫類、植物、水質
- ・調査方法 哺乳類：トラップ法、目撃法、フィールドサイン法
鳥 類：スポットセンサス法
両生・は虫類：目撃法
昆虫類：任意採集法、ベイトトラップ法、ライトトラップ法
植 物：植物相調査
水 質：SS、濁度